

PUB-NO: JP02002095509A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002095509 A
TITLE: TAG FOR ORNAMENT

PUBN-DATE: April 2, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

ONO, HIROAKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

INTERNATIONAL DIAMOND FACTORY:KK

COUNTRY

COUNTRY

APPL-NO: JP2000291506

APPL-DATE: September 26, 2000

INT-CL (IPC): A44 C 25/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a tag which can enhance ornamental properties and facilitates sure identification of its possessor.

SOLUTION: This tag is carries together with a clothing which is ornamented with the tag. The tag is characterized by putting a carved seal of the picture of a person who uses this tag or the picture of a pet. Because this tag has the seal of the picture of the possessor or that of a pet, it provides a unique ornamentality and facilitates the judgment whether or not it is really the possessor's one.

COPYRIGHT: (C) 2002, JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-95509

(P2002-95509A)

(43) 公開日 平成14年4月2日(2002.4.2)

(51) IntCl.

A 4 4 C 25/00

識別記号

F I

A 4 4 C 25/00

テマコード(参考)

Z 3 B 1 1 4

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2000-291506(P2000-291506)

(22) 出願日 平成12年9月26日(2000.9.26)

(71) 出願人 500448241

有限会社インターナショナル・ダイヤモンド・ファクトリ

宮崎県延岡市愛宕町3丁目51番地

(72) 発明者 小野 寛明

宮崎県延岡市栄町2-13

(74) 代理人 100086346

弁理士 鮫島 武信

Fターム(参考) 3B114 A401 C003 C005

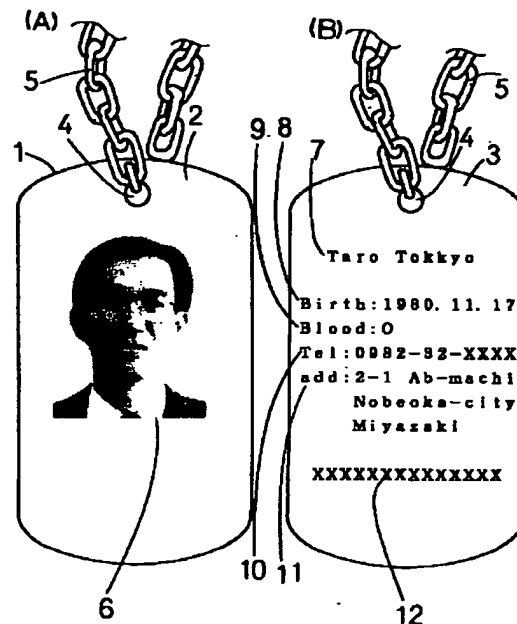
(54) 【発明の名称】 装身具用タグ

(57) 【要約】

【課題】 装身具用タグについて、装飾性を高め、更に、その所有者の確認を容易且つ確実にする。

【解決手段】 本願発明に係る装身具用タグは、身体や衣服を装飾するために携帯するものであり、タグを用いる人やペットの画像6を刻印したものであることを特徴とする。このように、タグには、このタグを身に付ける人やペットの画像6が刻印されているものであるため、奇抜な装飾性を備え、また、容易に且つ確実に当人のものであるか否かの判別が行える。

F I G . 1



【特許請求の範囲】

【請求項1】 身体や衣服を装飾するために携帯する装身具用タグにおいて、タグを用いる人やペットの画像を刻印した装身具用タグ。

【請求項2】 身体や衣服を装飾するために携帯する装身具用タグにおいて、持ち主の、少なくとも、顔の画像、名前、血液型を刻印した装身具用タグ。

【請求項3】 上記の画像は、写真などの実写画像のドットデータを基に、刻印部と非刻印部とを設けることにて、濃淡を表出させたものであることを特徴とする請求項1又は2記載の装身具用タグ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本願発明は、装身具用タグに関する。

【0002】

【従来の技術】米国の軍関係者においては、戦地で死傷した場合に本人を識別するためにドッグタグと呼ばれる金属製の下げ札を首にぶら下げている。このタグには、本人の名前や認識番号が刻印されている。最近、わが国の、若者の間で、装身具として、このようなタグを身に付けることが流行っている。このようなタグは、単なる装身具に止まらず、身に付けることによって、交通事故などの際に、その名前を確認することができる点で便利である。また、このタグは、金属製のプレートに名前が刻印されたものであるために、簡単に表示が消えず、上記の確認が確実にできるものとされている。

【0003】しかし、上記の通り、このタグは、本来実用性を主目的とするものであり、タグ自体は、単に名前やイニシャルが刻印されているに過ぎず、装飾性に乏しく、流行も長くは望めないものである。特に、金属製のプレートを加工した大量生産品に、単に名前やイニシャルを付した程度では、他者との差別化が図りにくく、「他人と違うものを持ちたい」という現代の消費者の強いニーズを十分に満足させるものではない。

【0004】この他、実用面で、従来のタグでは、名前の一応の確認には、便利であっても、それが本当に、当人のタグであるかの確認は、行えないものであった。例えば負傷して意識のない者が病院に運ばれた際、治療のために、一旦タグを当人の体から外した場合、それが当人のタグであるか否かの確認は行えない。これについては、負傷者からタグを外した関係者が、常時、その負傷者の側にいるとは限らないからであり、特に、大きな事故で多数の負傷者が病院施設に運ばれた際など、負傷者の体からタグを外すことによって、当人のタグと他人のタグとが取り違えられる可能性が高くなる。又、タグに付された名前や血液型での判別では、同姓同名の者の存在や同血液型の者の存在に対応できない。更には、親しい者同士で、互いのタグを交換して身に付けているなどといったことも考えられる。このような状況は、患者の

取り違えなどの医療ミスを誘因するものにもなりかねない。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本願の発明者は、このような状況を鑑み、装飾性が高く又個性が際立った装身具用タグを提供し、更に、タグ所有者の確認が容易に行える装身具用タグを提供することにより、上記の課題の解決を図った。

【0006】

【課題を解決するための手段】本願の第1の発明に係る装身具用タグは、身体や衣服を装飾するために携帯する装身具用タグにおいて、タグを用いる人やペットの画像6を刻印したものであることを特徴とする。

【0007】このような構成を採る本願第1の発明に係る装身具用タグは、このタグを身に付ける人やペットの画像6が刻印されているものであるため、奇抜で個性的な、極めて高い装飾性を備えたものである。又、容易に且つ確実に当人のものであるか否かの判別が行える。特に、本人の肖像での確認が行えるので、タグを付けている状態のときは勿論のこと、本人からタグが外された状態にあっても、上記の判別が容易且つ確実に行える。また、刻印により画像6が設けられているので、通常の写真を入れたペダントなどと異なり、入浴時や水泳を行う際にも、常時身体に着けておくことができる。

【0008】本願の第2の発明に係る装身具用タグは、身体や衣服を装飾するために携帯する装身具用タグにおいて、持ち主の、少なくとも、顔の画像6、名前、血液型を刻印したものであることを特徴とする。尚、ここでいう名前とは、氏名、姓のみ、名のみ、愛称の、何れの場合も含むものである。

【0009】このような構成を採る本願第2の発明に係る装身具用タグは、上記本願第1の発明に係る装身具用タグと同様の作用を奏すると共に、タグの所有者の、名前、血液型を認識することができる。このため、例えば、本人が事故で負傷した場合など病院施設での治療のための確認に必要な最低限の情報を得ることができる。

【0010】本願の第3の発明に係る装身具用タグでは、上記本願第1又は第2の発明に係る装身具用タグであって、上記の画像6が、写真などの実写画像のドットデータを基にした、刻印部と非刻印部とを設けることにて、濃淡を表出させたものであることを特徴とする。

【0011】このような構成を採ることによって、本願第3の発明に係る装身具用タグは、上記本願第1又は第2の発明に係る装身具用タグと同様の作用を奏すると共に、画像6として実写画像をタグに付すものであるため、タグ所有者の判別がより一層正確に行える。また、この画像は、実写画像のドットデータを基に刻印部と非刻印部とにて構成するものであるため、最近普及しつつある、パーソナルコンピュータに接続して使用する安価な加工装置で簡単に形成することができる。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づき本願発明の実施の形態を説明する。図1及び図2(A)へ、本願発明の一実施の形態を示す。図1(A)は、装身具用タグ1の正面図を示し、図1(B)はこの装身具用タグ1の背面図を示す。図2(A)は、この装身具用タグ1の要部拡大縦断面図を示す。

【0013】図1へ示すように、この装身具用タグ1は、金属製の板状体であり、その表面2に持ち主の実写の画像6が刻印され、その背面3に、名前7、誕生日8、血液型9、電話番号10、住所11、メッセージ12が刻印されている。また、貫通孔4が設けられ、この貫通孔4に紐や鎖、キーホルダなどの吊り具5が通される。以下更に詳しく説明する。

【0014】この装身具用タグ1を形成する金属製の板状体は、表面或いは裏面の一方の面への刻印が他方の面へ影響しない十分な厚みを有する。

【0015】上記タグの表面2の画像6は、タグの持ち主の実写の肖像であり、図2(A)へ示す、刻印部6aと非刻印部6bとにて、構成される。具体的には、画像6は、コンピュータを用い、スキャナや、デジカメ、ビデオキャプチャ装置などにて、写真やビデオ影像などから静止画像として持ち主の肖像の画像データを取得し、この画像データに基づき、コンピュータにて制御可能な市販の加工装置にて、装身具用タグ1を加工することにより、装身具用タグ1に、刻印されたものである。

【0016】上記の加工装置は、ダイヤモンドなどでできた針先を金属板の表面に打つことにて、金属板の表面を凹ませて刻印するものであり、ドットデータとして取り込んだ画像のドットに対応して、金属板の表面に凹部を点描するものである。これにて、点描された部分が上記の刻印部6aである(一つの点が一つの刻印部6aである)。画像6が設けられるタグの表面2は、平滑であり、上記刻印部6aが形成されることにより、刻印がされない上記非刻印部6bとで、光の反射具合が異なり、画像の濃淡を表出させることができる。例えば、タグの表面2を鏡面状に研磨しておき、上記の刻印を行えば、刻印部6aは、非刻印部6bの鏡面に対して梨地状に見え、濃淡の差を表すことができる。画像6は、刻印部6aにて淡色を示し、非刻印部6bにて濃色を示す。但し、逆であっても実施可能である。

【0017】上記の画像6は、均一な刻印部6a…6aと、非刻印部6bとにて、構成されるものである。実写を上記の画像6とする場合、中間階調(濃淡を白黒とすれば灰色が該当する。)が表出できれば、より実写の肖像を正確に表示することができる。このような中間階調は、画像6の各部において、刻印部6aの密度を変えること、即ち、タグの表面2の単位面積当たりの刻印部6aの数を、変えることにて、表出させる。具体的には、刻印部6aが呈する点を密にして暗部を表出させ、この

点を粗にして明部を表出させる。画像6における、このような刻印部6a…6aの粗密の形成により、画像6の識別性のみならず、装身具用タグ1の装飾性をより高めることができる。尚、非刻印部6bは、刻印部6aに対して、相対的に加工(刻印)の程度が低くければよく、全く加工(刻印)されていないものは勿論、刻印部6aよりも刻印が浅いものを非刻印部6bとして実施し得る。

【0018】上記のタグの裏面3の名前7、誕生日8、血液型9、電話番号10、住所11、メッセージ12といった文字情報も、上記と同様の加工装置にて、刻印して形成することができる。但し、文字情報の基となるデータには、写真などの画像データに限らず、コンピュータ或いはワードプロセッサなどのソフトウェアが有するキャラクタ(文字)データや、フォントデータを利用することができる。また、上記の文字情報においては、中間階調の表出は、不要である。但し、このような文字情報においても中間階調を備えたものとするれば、装身具用タグ1の装飾性をより高めることができる。

【0019】タグの裏面3に刻印される上記の文字情報には、上記以外の情報を含むものとしても実施可能である。また、上記の文字情報も全て備える必要はない。但し、名前7と血液型9を含めておけば、病气や負傷により、病院や施設に運ばれた際に、他の患者と取り違えられるといった事態を低減できる。

【0020】上記の実施の形態において、中間階調の表出は、点描の密度を変えることにて行うものとした。この他、中間階調は、刻印部6aの刻印の深さを変えることにて、表出させて実施し得る。詳しくは、図2(B)へ示すように、刻印部6aには、他の刻印部6a(深刻印部6c)の刻印の深さh1よりも、刻印の深さh2が浅いもの(浅刻印部6d)を備えるものとする。この刻印の深さh2が浅い刻印部6a(浅刻印部6d)の形成にて、中間階調を表出させるのである。

【0021】上記の各実施の形態において、画像6と、名前7などの文字情報とは、タグの表裏別々に付されたものを示したが、この他、同じ面に、画像6と、名前7などの文字情報とを配するものとしても実施可能である。このようにすれば、本人の肖像と、名前とを一目で確認できるので、より便利である。また、同一面に全ての情報を配列することによって、刻印が反対側の面にも凹凸を形成するものであっても、問題がないので、タグの厚みを薄くすることにて、重量及び材料コストを低減することができる。

【0022】但し、画像6と、名前7などの文字情報とを、タグの表裏別々に配することによって、表裏夫々により多くの情報を盛り込むことができる。また、上記の各実施の形態において、画像6は、実写画像としたが、似顔絵などの画像であっても実施可能である。但し、実写画像とする方が、より正確な判別ができ、装飾性の面

でも、より奇抜な印象を表出させることができる。

【0023】また、タグの持ち主は、人に限らない。ペットに用いる場合は、画像6をペットの肖像とし、名前7をペットの名前として実施することが可能である。但し、ペットに装身具用タグ1を着ける場合も、飼い主の名前や肖像を夫々名前7や画像6として実施することが可能である。このようにすれば、迷子のペットを見つけた者において、持ち主の特定が確実にできる。便利である。また、画像6は、ペットと共に飼い主の肖像を備えたものとすれば、より一層上記の効果を得ることが可能である。また、画像6は、タグの持ち主の肖像と共にその家族の肖像を備えるものとすれば、自家用車で移動中に交通事故に巻き込まれた場合など、同乗した家族の特定も行える。

【0024】

【発明の効果】本願第1の発明の実施によって、装身具用タグに画像を刻印するという従来になかった奇抜な加工にて、このようなタグの装飾性を高めた。また、タグを用いる者の画像を備えることにより、2つと同じものがない極めてオリジナリティが高い装飾性を具備せしめた。これにて、その所有者の判別を、容易に且つ確実にできるものとし、タグを付けている状態のときは勿論のこと、本人からタグが外された状態にあっても、所有者の判別が容易且つ確実にできる。また、画像は、刻印にてタグに付されているので、簡単に、消えず、この点においても、上記の効果より一層確実に得ることができ、また、常時身体に着けておくことが可能となった。この他、紛失したり盗難にあったタグが、第三者によって見つけられた場合も、本人のものか否かの確認が容易且つ確実にできる。

【0025】本願第2の発明の実施によって、上記本願第1の発明と同様の効果を奏すると共に、タグの所有者の、氏名、血液型を認識することができる。特に、タグの所有者の判別のみならず、本人が誰であるか、その特

定が確実にできるものとなった。従って、タグの所有者が負傷して意識不明の状態に陥った場合などでも、第三者において、タグが本人のものであるか否かの判断が容易且つ確実にできるので、医療ミスを大幅に低減することが可能となった。具体的には、タグの所有者が負傷して意識不明の状態に陥った病院で輸血を受ける際など、輸血のために病院で血液型を調べらるものとしても、その検査が、本人の居る部屋と別室で行われたり、複数の患者と共に調べられたりした場合、確実にその者の検査結果であるという確証は持てないものであるが、この発明の実施により、負傷者の顔を見て確実に、被検者を特定することができ、輸血が必要な患者を取り違えるといったことを低減した。

【0026】本願第3の発明の実施によって、上記本願第1又は第2の発明と同様の効果を奏すると共に、実写画像にて、タグ所有者の判別がより一層正確に行える。また、実写画像の刻印にて、在り来たりな装飾を越えた、高い装飾性をタグに具備せしめた。特に、最近普及しつつある、パーソナルコンピュータに接続して使用する安価な加工装置で簡単にタグへ上記画像を付すことができる。

【図面の簡単な説明】

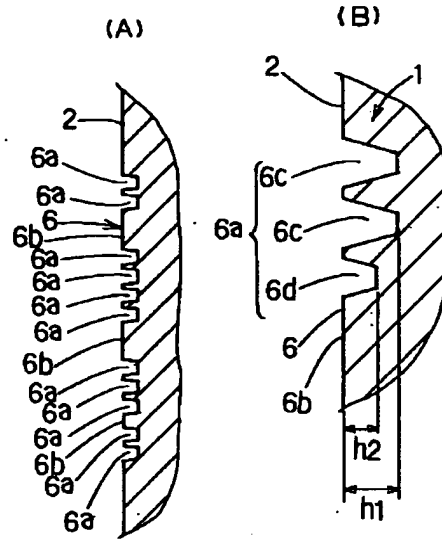
【図1】(A)は本願発明に係る装身具用タグの正面図であり、(B)はその背面図である。

【図2】(A)は上記の装身具用タグの要部拡大縦断面図であり、(B)は他の実施の形態の装身具用タグの要部拡大縦断面図である。

【符号の説明】

- 1 装身具用タグ
- 2 (装身具用タグの)表面
- 3 (装身具用タグの)裏面
- 4 貫通孔
- 5 吊り具
- 6 画像

【図2】



* NOTICES *

JPO and NCIPI are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

DETAILED DESCRIPTION

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Field of the Invention] The invention in this application relates to the tag for accessories.

[0002]

[Description of the Prior Art] In the American army persons concerned, when injured and killed in a battlefield, in order to identify him, the metal tag called DOGGUDAKU is hung on the neck. His identifier and recognition number are stamped on this tag. Recently, attaching such a tag to the body is prevailing as accessories among the young men of our country. Such a tag is convenient by not stopping at mere accessories but attaching to the body at the point that the identifier can be checked, in the cases, such as a traffic accident. Moreover, since an identifier is stamped on a metal plate, a display shall not disappear simply but this tag shall be certainly performed in the above-mentioned check.

[0003] however, as above-mentioned, originally this tag makes practicality a key objective, and, as for the tag itself, an identifier and an initial are only stamped -- **** -- it does not pass, and it is lacking in fanciness and epidemia cannot be desired for a long time, either. It is hard to attain differentiation with the others, and the strong needs of the consumer of the present age of "wanting to have a thing different from others" are not fully satisfied to extent which only gave the identifier and the initial to the mass-produced goods which processed the metal plate especially.

[0004] In addition, it was that to which it cannot perform the check of whether to be a person's in question tag truly with the conventional tag in respect of practical use even if convenient for the temporary check of an identifier. For example, when those who are injured and are unconscious are taken to a hospital and a tag is once removed from a person's in question body for a therapy, the check of whether it is a person's in question tag cannot be performed. About this, the persons concerned who removed the tag from the injured are because it is not necessarily always in the injured side, and when much injured are especially carried to a hospital plant in big accident, possibility that a person's in question tag and others' tag will be mistaken becomes high by removing a tag from the injured's body. Moreover, in distinction with the identifier and blood group which were given to the tag, it can respond to neither existence of the person of a same surname same name, nor existence of the person of this blood group. Furthermore, having exchanged the mutual tag by intimate persons and having attached to the body etc. is considered. such a situation -- a patient -- mistaking -- etc. -- it may also become the basis which carries out the cause of the malpractice.

[0005]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] The artificer of this application aimed at solution of the above-mentioned technical problem by fanciness's offering the tag for accessories with which individuality was highly conspicuous again, and offering further the tag for accessories which can check a tag owner easily in view of such a situation.

[0006]

[Means for Solving the Problem] The tag for accessories concerning invention of the 1st of this application is characterized by stamping the image 6 of the man using a tag, or a pet in the tag for

accessories carried in order to ornament the body and clothes.

[0007] Since the tag for accessories concerning this application the 1st invention which takes such a configuration is that on which the image 6 of those who attach this tag to the body, or a pet is stamped, it is equipped with novel and individual, very high fanciness. Moreover, it can distinguish whether it belongs to a person in question easily and certainly. Not to mention especially the time of the condition of having attached the tag since a check with his portrait can be performed, even if it is in the condition that the tag was removed from him, the above-mentioned distinction can carry out easily and certainly. Moreover, since the image 6 is formed with a stamp, also in case the time of bathing and swimming are performed unlike PEDANTO which put in the usual photograph, it can always stick to the body.

[0008] In the tag for accessories carried in order to ornament the body and clothes, it has a tag for accessories concerning invention of the 2nd of this application, and it is characterized by the main things for which the image 6 of a face, an identifier, and a blood group are stamped at least. In addition, as for an identifier here, in any [of a pet name] case, only a name and a family name include only a name.

[0009] The tag for accessories concerning this application the 2nd invention which takes such a configuration can recognize the identifier of the owner of a tag, and a blood group while doing so the same operation as the tag for accessories concerning the above-mentioned this application 1st invention. For this reason, for example, when he gets injured in accident, minimum information required for the check for the therapy by the hospital plant can be acquired.

[0010] With the tag for accessories concerning invention of the 3rd of this application, it is in the tag for accessories concerning the above-mentioned this application 1st or 2nd invention, and the above-mentioned image 6 is characterized by making a shade express by preparing the stamp section and the non-stamping sections based on dot data of an on-the-spot photo image, such as a photograph.

[0011] Since the tag for accessories applied to this application the 3rd invention by taking such a configuration is what gives an on-the-spot photo image to a tag as an image 6 while doing so the same operation as the tag for accessories concerning the above-mentioned this application 1st or 2nd invention, a tag owner's distinction can perform it to accuracy further. Moreover, since this image is what is constituted from the stamp section and the non-stamping section based on the dot data of an on-the-spot photo image, it can be easily formed with the cheap processing equipment which is spreading recently and which is used connecting with a personal computer.

[0012]

[Embodiment of the Invention] Hereafter, based on a drawing, the gestalt of operation of the invention in this application is explained. To drawing 1 and drawing 2 (A), the gestalt of 1 operation of the invention in this application is shown. Drawing 1 (A) shows the front view of the tag 1 for accessories, and drawing 1 (B) shows the rear view of this tag 1 for accessories. Drawing 2 (A) shows the important section enlarged vertical longitudinal sectional view of this Duc 1 for accessories.

[0013] This tag 1 for accessories is a metal plate, it has in that front face 2, the image 6 of the main on-the-spot photos is stamped, and an identifier 7, a birthday 8, a blood group 9, the telephone number 10, the address 11, and a message 12 are stamped on that tooth back 3 so that it may be shown to drawing 1. Moreover, a through tube 4 is formed and this through tube 4 lets the harnesses 5, such as a string, and a chain, a key holder, pass. It explains in more detail below.

[0014] The metal plate which forms this tag 1 for accessories has sufficient thickness by which the stamp to one field of a front face or a rear face does not influence the field of another side.

[0015] The image 6 of the front face 2 of the above-mentioned tag is a portrait of an on-the-spot photo of the owner of a tag, and consists of stamp section 6a and non-stamping section 6b which are shown to drawing 2 (A). Specifically, an image 6 is stamped on the tag 1 for accessories by having as a static image from a photograph, a HIDEO image, etc., acquiring the image data of the main portraits, and processing the tag 1 for accessories with controllable commercial processing equipment with computer in a scanner, a digital camera, video capture equipment, etc., based on this image data using a computer.

[0016] Above processing equipment dents and stamps the front face of a metal plate by striking the needle point made with the diamond etc. on the surface of a metal plate, and sketches a crevice on the surface of a metal plate corresponding to the dot of the image captured as dot data. The part sketched

now is the above-mentioned stamp section 6a (one point is one stamp section 6a). It is smooth, and it is with the above-mentioned non-stamping section 6b to which a stamp is not carried out by forming the above-mentioned stamp section 6a, the reflective condition of light can differ, and the front face 2 of a tag in which an image 6 is formed can make the shade of an image express. For example, the front face 2 of a tag is ground in the shape of a mirror plane, and if the above-mentioned stamp is performed, stamp section 6a is visible in the shape of crepe to the mirror plane of non-stamping section 6b, and can express the difference of a shade. An image 6 shows light color by stamp section 6a, and shows a dark color by non-stamping section 6b. However, even if reverse, it can carry out.

[0017] The above-mentioned image 6 is uniform stamp section 6a. -- It consists of 6a and non-stamping section 6b. If middle gradation (black and white, then gray correspond a shade.) can be expressed when using an on-the-spot photo as the above-mentioned image 6, the portrait of an on-the-spot photo can be displayed more correctly. Such middle gradation is made to express in each part of an image 6 by changing the number of changing the consistency of stamp section 6a, i.e., stamp section 6a per unit area of the front face 2 of a tag. Specifically make dense the point which stamp section 6a presents, and an umbra is made to express, this point is rough-*(ed) and a bright section is made to express. Such stamp section 6a in an image 6 -- Formation of the roughness and fineness of 6a can raise more the fanciness of not only epicritic [of an image 6] but the tag 1 for accessories. In addition, non-stamping section 6b can carry out relatively what has a shallow stamp as non-stamping section 6b rather than stamp section 6a to stamp section 6a as well as what is not processed at all (stamp) that extent of processing (stamp) should just kick low.

[0018] Text, such as the identifier 7 of the rear face 3 of the above-mentioned tag, a birthday 8, a blood group 9, the telephone number 10, the address 11, and a message 12, can also be stamped and formed with the same processing equipment as the above. However, the character (alphabetic character) data which software, such as not only image data, such as a photograph, but a computer or a word processor, has, and font data can be used for the data used as the radical of text. Moreover, in the above-mentioned text, expression of middle gradation is unnecessary. However, the fanciness of the thing equipped with middle gradation also in such text, then the tag 1 for accessories can be raised more.

[0019] In the above-mentioned text stamped on the rear face 3 of a tag, it can carry out also as a thing including information other than the above. Moreover, it is not necessary to also have all the above-mentioned text. However, if the identifier 7 and the blood group 9 are included, when carried to a hospital or a facility by illness and injury, the situation where it is mistaken for other patients can be reduced by them.

[0020] In the gestalt of the above-mentioned operation, expression of middle gradation shall be performed by changing the consistency of a sketch. In addition, by changing the depth of the stamp of stamp section 6a, middle gradation is made to express and can be carried out. In detail, stamp section 6a shall be equipped with what has the depth h2 of a stamp shallower than the depth h1 of the stamp of other stamp section 6a (serious mark section 6c) (6d of *****) so that it may be shown to drawing 2 (B). Middle gradation is made to express by the formation of stamp section 6a (6d of *****) with the shallow depth h2 of this stamp.

[0021] the gestalt of each above-mentioned operation -- setting -- an image 6 and text, such as an identifier 7, -- the front flesh side of a tag -- although what was attached separately was shown, it can carry out also as what allots an image 6 and text, such as an identifier 7, to the same field. If it does in this way, since his portrait and an identifier can be checked at a glance, it is more convenient. Moreover, since it is satisfactory even if a stamp forms irregularity also in the field of the opposite side by arranging all information to the same side, weight and ingredient cost can be reduced by making thickness of a tag thin.

[0022] however, an image 6 and text, such as an identifier 7, -- the front flesh side of a tag -- much information can be incorporated by each front flesh side by allotting separately. Moreover, in the gestalt of each above-mentioned operation, although considered as the on-the-spot photo image, an image 6 can be carried out, even if it is images, such as a portrait. However, it can be made that distinction [consider / as an on-the-spot photo image] is more exact, and a more novel impression can be made to

express also in respect of fanciness.

[0023] Moreover, the owner of a tag does not restrict to people. When using for a pet, it is possible to use an image 6 as a pet's portrait and to carry out an identifier 7 as a pet's identifier. However, also when sticking the tag 1 for accessories to a pet, it is possible to carry out an owner's identifier and portrait as an identifier 7 or an image 6, respectively. If it does in this way, since it has and the main specification can be ensured in those who found a missing child's pet, it is convenient. Moreover, an image 6 can acquire the thing equipped with an owner's portrait with the pet, then the much more above-mentioned effectiveness. Moreover, an image 6 can also perform specification of the family who rode together, when it is involved in by the traffic accident during migration with the thing equipped with the family's portrait with the portrait of the owner of a tag, then a private vehicle.

[0024]

[Effect of the Invention] Implementation of invention of this application 1st raised the fanciness of such a tag by novel processing which is not in the former of stamping an image on the tag for accessories. Moreover, fanciness with very high originality without the same thing as two was made to provide by having a person's image using a tag. Even if it is in the condition that the tag was removed from him, not to mention the time of the condition of should ensure [easily and] the owner's distinction and having attached the tag now, an owner's distinction can carry out easily and certainly. Moreover, since the image was given to the tag with a stamp, it became possible [not disappearing being able to acquire the above-mentioned effectiveness much more certainly also in this point easily, and always sticking to the body]. In addition, also when the tag which was lost or suited the theft is found by the third person, it can carry out easily [the check of being his thing], and certainly.

[0025] By implementation of invention of this application 2nd, while doing so the same effectiveness as the above-mentioned this application 1st invention, the name of the owner of a tag and a blood group can be recognized. It became what not only distinction of the owner of a tag but he is whom, or can ensure the specification especially. Therefore, since decision whether a tag belongs to him was completed easily and certainly in the third person also when the owner of a tag was injured and it lapsed into the condition of consciousness losing, it became possible to reduce malpractice sharply. a transfusion in case the owner of a tag is injured and transfusion is specifically received in the state of consciousness losing in a hospital sake -- a hospital -- a blood group -- investigation ** -- ***** -- Although the corroboration that it is the person's inspection result certainly cannot be held when the inspection is conducted in the room and another room in which he is or it is investigated with two or more patients It reduced being able to see the injured's face, certainly being able to specify the subject and mistaking a patient transfusing blood by implementation of this invention.

[0026] By implementation of invention of this application 3rd, while doing so the same effectiveness as the above-mentioned this application 1st or 2nd invention, a tag owner's distinction can carry out to accuracy further by the on-the-spot photo image. Moreover, the tag was made to possess the high fanciness which exceeded the common ornament with the stamp of an on-the-spot photo image. The above-mentioned image can be easily attached to a tag with the cheap processing equipment which is spreading especially recently and which is used connecting with a personal computer.

[Translation done.]